

# 宝木地区公民館だより



宝木のおもちゃ病院 2009年～ 事業の様子  
 （宝木地区公民館 わくわく子ども事業）

「名」の付く、ひと、もの  
 宝木地区公民館長  
 吉田 和行

宝木地区の「名医」の紹介です。以前、鳥取テレビ局の取材で、宝木地区公民館での「名」の付く、ひと、もの、の紹介要請がありました。早速、宝木地区には頼れる「名医」がいますと紹介しました。

それは、子どもたちが、夢を託す大切なおもちゃの不具合を、子どもたちと一緒に診察、治療し必要であれば入院で対応頂ける名医です、と宝木部落の松尾昌和院長を紹介し取材、放映されました。

改めて皆様に紹介します。松尾昌和「名医」は毎月第2土曜日、午前十時より宝木地区公民館にて、おもちゃ病院を開院されています。

足掛け十三、四年もの永きに渡るご活動です。少子化の昨今、身近に感じられないかもしれません。宝木地区公民館でのおもちゃ病院は、「名医」によるご開院です。

宝木地区の皆様、お子様のご来院を心よりお待ちしております。

すごい先生

田中 広明

小学生の時に、おもちゃ病院に行ったことがあります。それは大事にしていたおもちゃが動かなくなり、自分で分解してなおそうとしたけど、なおらなかつたからです。

おもちゃ病院の先生に、「おもちゃのどこの調子が悪いのかな？」と聞かれ、「線が切れているかもしれない」と答えました。

その後、先生は分解して悪いところを見つけ、なおしてくれました。自分ではなおせないのに、先生はいろんな道具を使ってなおしていたので、すごいと思いました。

この事があってから、ものを大切にしようと思いました。ほくも先生のように、今までよりもっと人を笑顔に出来るような人になりたいです。



## 「健康と向き合うひと時」

に参加して  
三村 昌和

毎月20日過ぎの土曜日午前中に開催されるこの行事は、体重測定、検温、血圧測定で始まります。



次に講師やスタッフの指導により30分間のミニ健康講座が始まります。内容は、毎回異なります。ラジオ体操のような軽い運動やゲームで気軽に楽しく過ごせる会です。年に何回か講師先生を招いての講演会も開催されます。

私は、肥満に注意するよう医者から警告を受けています。そこで、この行事に参加して気長く健康に向き合い、減量を成功させたいと思っています。以前は、参加する人が大勢おられました。最近、気温が高く暑いせい参加者が少なく、健康に向き合う気力が減退しがちになります。いずれにしても健康の問題は、継続が重要です。



多くの方に参加いただき皆で気楽で楽しく健康に向き合

ってみませんか。

最後に、会の運営に苦心しておられるスタッフの皆様には厚く御礼申し上げます。

## 福助菊づくりに参加して

吉田 亨

事業に参加し、菊の魅力にとりつかれてから、十年余りになります。

今年も、奥沢見の水田允さんの指導をうけながら、八名の仲間と福助菊づくりに挑戦しています。

さし芽から育てた苗を、そ



れぞれが、自宅が、管理し、実習会の時に持ち寄ります。そこで、大輪の菊が咲くよう、病害虫から葉を守り、

徒長や肥料の加減をして成長にあわせた作業等を行います。りっぱな菊の、成長を楽しみながら育てていくことは、どこか、子育てにも似たものを感じさせられます。

当日、実習会に参加できないときは、仲間どうし助け合いながら作業をしています。



令和元年度 鳥取市公民館まつりに出展

今回は、コロナウィルスの影響で、地区文化祭、鳥取菊花展が中止になり出品できず寂しくなりました。

秋にどんな福助菊ができあ

がっているか、皆さんと一緒に鑑賞できることを楽しみにしています。

また、楽しい仲間が増えれば幸いです。

### まるごと地産地消

#### らっきょう漬け

吉村 あけみ

らっきょう漬けは旬のものを旬に作る毎年楽しみにしている行事のひとつです。

らっきょうは地元砂丘らっきょうを使い、根を取り分け



根切りをし、きれいな白肌になるよう洗い、熱湯消毒をした持参の容器に入れます。合わせ酢は市販のものを使わず、自分たちで調合した酢で漬けます。(これが実においしい。)

買えば簡単に出来るらっきょう漬けですが、ひと粒ひと粒自分で手がけるこだわりの品は格別です。常連の方、夫婦、親子、初参加の方と一緒に今年も漬けることが出来ました。



公民館職員さんの材料調達等さまざまなサポートをいただき感謝しています。ありがとうございました。

また、次回楽しみにしています。

## じげ自慢

### 菖蒲綱の応援歌について

宝木 淀 克史

国の重要無形民族文化財である、「宝木の菖蒲綱」。

その内容は、いろいろな所で説明されているので、説明を省きます。

この行事は水尻・青谷・岩美町大羽尾にもあるそうです。(因幡の菖蒲綱)

しかし、特筆すべきは、宝木の菖蒲綱では応援歌を歌うのです。詳しく調べたわけではありませんが、これは「宝木の菖蒲綱」だけのようです。

宝木誌「わがまち宝木」によると、『応援歌が出来たのは、両町とも大正十年頃である。応援歌は当時の大学・高校・中学から借りたものが多いようだ。しかしながら、応援歌は文字として残らず、代々子どもの口から口へと伝わった

ので、歌詞としては不自然なものもある。』との事のようにですが、約百年も歌い継がれていることはすごいと思います。毎年、6月の2週目の日曜日に、「エーター、エーター」の声とともに、綱を玄関にたたきつ

け、応援歌を歌う子どもたちを見ながら、自分が子どもだった頃を懐かしんでいます。



子どもが少なくなってしまう、菖蒲綱保存会の皆様も大変だと思えますが、いつまでも、この行事が続くことを願っています。また、いつの日か、この応援歌の正式な楽譜の作成や音声などを後世に残せたら・・・などと勝手に思っています。



# 夏休み もの作り教室



## 風鈴作り



素焼きの白い風鈴と短冊に、子どもたちが思い思いの絵を描きました。

見生 夏希

どんな絵にしようかなあ〜？

初めて風鈴作りをしました。  
透明なものにペンでかいたりするのだと思っていたので真っ白な焼き物を渡されたときはびっくりしました。どうやって作るか分からなかったけれど、公民館の方にいろいろ教えてもらって、かわいい風鈴を作ることができました。

わたしは家族をかきました。顔を思いうかべながらかいたので、そこがむずかしかったです。色をつけるのも楽しかったです。

完成して音をならしてみるとすきとおるようなきれいな音がしました。

自分だけの風鈴ができてとてもうれしかったです。



野村 旺介

- 8月の風りん作りに参加しました。
- まず、絵の下書きをしました。ハイビスカスの絵を風りんにかくのが特にむずかしかったです。
- 次に色つけをしました。どういう色をつければいいのか なやんだけど、こまかいところも はみでないよう気をつけながらきれいにぬれました。
- 風りんはかんたんにつくれました。
- とても楽しかったです。

風鈴に描く絵を下書き中！



編集後記  
 上期公民館だよりが  
 出来上がりしました。  
 原稿作成や事業に参  
 加してくださった皆様、  
 ありがとうございます。  
 今年度は、コロナ禍の  
 中、出来ない事が多々あ  
 ります。来年は、出来る  
 ことを前向きに考えて、  
 楽しく、充実した日々を  
 過ごしていきたいものを